

計測展 2005 TOKYO

終了報告書



〇はじめに

拝啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の「計測展2005 TOKYO」の開催に当たりましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして盛況裡に無事終了致しました。これもひとえに出展者各位並びに、ご支援の関係官公庁のご協力によるものと、主催者といたしまして深く感謝しております。

ここに、本展の開催結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今後共、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

平成17年12月

(社)日本電気計測器工業会/日経BP社

〇目次

〇はじめに	1
〇開催概要	2
〇出展企業/団体一覧	4
〇基調講演/専門カンファレンス/JEMIMA委員会セミナー	5
〇プロモーション活動	7
〇来場者アンケート結果	8

○開催概要

1. 開催概要

(1) 名称・テーマ

名 称: [和文]計測展2005 TOKYO
[英文]Measurement and Control Show 2005 TOKYO
テ ー マ: 「測ると見える 未来の技術」

(2) 会期・会場

会 期: 2005年11月9日(水)～11日(金) 3日間
開催時間: 10:00～17:00
会 場: 東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 西1・2ホール

(3) 主 催

社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)

(4) 共 催

日経BP社

(5) 後 援

文部科学省、経済産業省、環境省

(6) 協 賛

(独)産業技術総合研究所、(独)製品評価技術基盤機構、日本電気計器検定所、
(財)日本品質保証機構、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)、(社)計測自動制御学会、
(社)日本機械学会、(社)日本計量機器工業連合会、(社)日本電機工業会、
(社)日本電気制御機器工業会、(社)日本分析機器工業会

(7) 入 場 料

1,000円(消費税込み)
(招待券持参者および展示会事前登録者は無料)

(8) 併催事業

基調講演、専門カンファレンス、JEMIMA委員会セミナー、テクニカルセミナー

(9) 計測展2005 TOKYO 実行委員会構成会社

株式会社アドバンテスト
アンリツ株式会社
岩通計測株式会社
株式会社島津製作所
株式会社チノー
株式会社東芝
富士電機システムズ株式会社
株式会社堀場製作所
株式会社山武
横河電機株式会社

2. 開催結果概要

(1) 展示規模

① 総 数: 129社(機関・委員会含)	404小間
(内訳) 国 内: 112社(機関・委員会含)	387小間
海 外: 17社	17小間

② 企画別内訳

企画名	出展企業・団体数			小間数		
	国内	海外	合計	国内	海外	合計
1 製品展示	78	15	93	343	15	358
① 正会員	(34)		(34)	(255)		(255)
② 賛助会員	(2)		(2)	(15)		(15)
③ 一般	(42)	(15)	(57)	(73)	(15)	(88)
2 トライアルブース	16	2	18	16	2	18
3 独立法人・関連機関	5		5	10		10
4 書籍販売コーナー	9		9	11		11
5 JEMIMAコーナー	4		4	7		7
合計	112	17	129	387	17	404

(2) 併催事業規模

- ① 基調講演: 3テーマ
477名(159名/1テーマ平均)
- ② 専門カンファレンス: 6テーマ
260名(43名/1テーマ平均)
- ③ JEMIMA委員会セミナー: 3テーマ
489名(163名/1テーマ平均)
- ④ テクニカルセミナー: 14社(委員会含)・36テーマ
1508名(42名/1テーマ平均)

(3) 参加国・地域数

5カ国・地域: 韓国、中国、台湾、スイス、日本

(4) 来場者数: 54,738名(内、海外来場者数: 532名)

月日・天候	来場者数
11月9日(水)・晴れ	15,036名
11月10日(木)・晴れ	17,752名
11月11日(金)・曇り	21,950名
合 計	54,738名

○出展企業/団体一覧

M メジャメント・半導体周辺装置・通信
C コントロール(PA・FA)
T トライアルブース

E 環境・分析・バイオ・放射線計測
S センサ・フィールド機器
B 書籍販売コーナー

R 関連製品・サービス
J JEMIMAコーナー、関連機関紹介コーナー

- R (株)浅沼技研
T (株)浅沼商会
T (株)アド・サイエンス
M (株)アドバンテスト
T アドフォクス(株)
E (株)アルバック
M アルファ・エレクトロニクス(株)
M アンリツ(株)
S 安立計器(株)
B E2パブリッシング(株)
T 因幡電機産業(株)
M 岩通計測(株)
S ヴァイサラ(株)
C (株)SLジャパン
E エナジーサポート(株)
S NEC三栄(株)
R NTTファネットシステムズ(株)
M (株)エヌエフ回路設計ブロック
M (株)エネゲート
S エンドレスハウザー ジャパン(株)
M 大倉電気(株)
S (株)大手技研
S (株)岡崎製作所
S オムロン(株)
S (株)カイジョーソニック
M 菊水電子工業(株)
B (株)技術調査会
M (株)九州共販
S (株)共和電業
T クロスボー(株)
C KDDI(株)
B (有)工業技術社
M (独)工業所有権情報・研修館(特許電子図書館(IPDL)、特許流通DB)
M (独)工業所有権情報・研修館(特許流通促進事業)
T 光進電気工業(株)
T (有)近藤生産性技術所
M サイバネットシステム(株)
J (独)産業技術総合研究所 計量標準総合センター
S ザムソン(株)
B CQ出版(株)
T CC-Link協会
T JFEエンジニアリング(株)
M システムデザインサービス(株)
M (株)システムハウス・サンライズ
C 島津システムソリューションズ(株)
C (株)島津製作所
S 新光電機(株)
C 新川電機(株)
T (株)信光社
S (株)スペクトラ・コープ
R スリック(株)
E 西華産業(株)
J (独)製品評価技術基盤機構 認定センター
M (有)ゼロ・コア
S (株)センサスヤマモト
M (株)ソルトン
M (株)チノー
- B DMカードジャパン(株)
T テクノワールド(株)
S (株)テストー
C (株)テブコシステムズ
B (株)電波新聞社
E 東亜ディーケーケー(株)
S (株)東京測器研究所
C (株)東芝
R 東洋リビング(株)
R (株)常盤商行
S 長野計器(株)
J (財)名古屋産業科学研究所 中部TLO
M (株)ナックイメージテクノロジー
B 日経BP社
C 日本エマソン(株) エマソン・プロセス・マネジメント事業本部
C 日本OPC協議会
B 日本工業出版(株)
J 日本電気計器検定所
M 日本ナショナルインスツルメンツ(株)
J (財)日本品質保証機構
C NPO法人 日本フィールドバス協会
C NPO法人 日本プロフィバス協会
M 日本無線(株)
S 熱産ヒート(株)
C (株)ノーケン
R ノリタケ伊勢電子(株)
S (株)ビーアンドエフ
T (株)ビーエヌテクノロジー
M 日置電機(株)
C (株)日立ハイテクトレーディング
M (株)平井
C 富士電機システムズ(株)
S 富士フイルム ビジネスサプライ(株)
T プレサイスゲージ(株)
E (株)ベテル
M ポーズ感性工学リサーチ(株)
E (株)堀場製作所
E マイクロテック(株)
S 松下電工(株)
S 丸文(株)
T 丸紅ソリューション(株)
E (株)明電舎
C (株)メレック
C (株)山武
S 山里産業(株)
T ユーアイニクス(株)
C 横河電機(株)
M 横河電機(株)
B リード・ビジネス・インフォメーション(株)
M リオン(株)
S リニアテクノロジー(株)
T (株)ルネサス北日本セミコンダクタ
J (社)日本電気計測器工業会(JEMIMA)
J JEMIMA 校正事業者認定制度推進委員会
J JEMIMA 法規制・規格委員会
J JEMIMA 環境グリーン委員会

【CHINA】

- T Beijing Standard Industry Technology Co.,Ltd.
T Beijing Suburb Chamber For the Promotion of International Trade

【KOREA】

- S C&C Instruments Co., Ltd
S DaeYoon Scale Industrial Co., Ltd.
S Green Sensor
S Korea Measuring Instruments Research Assosiation (KMIRA)
S MK ELECTRONICS CO.
S NEXI FUTURE Co., Ltd.

【SWITZERLAND】

- M L.N INDUSTRIES SA

【TAIWAN】

- M BAU SAN ELECTRIC WORK CO.,LTD.

- M Xinyang Hi-power Technology Equipment Co., Ltd
M RIGOL ELECTRONIC CO.,LTD

- S SAMWON Tech
S SCINCO CO., LTD
S SENTECH Corp. Ltd.
S SETech
S Solutions Corporation

○基調講演/専門カンファレンス/JEMIMA委員会セミナー

■ 11月9日(水) 地球への優しさが拓く未来の扉

■ 11月10日(木) ユビキタスとバイオが作る未来社会

基調講演

会場:西2ホール内 特設会場 受講料:無料

KN1 11:00 ~ 12:30

インターコネクト・エコデザインー未来のための製造技術ー

東京大学 工学系研究科 教授
須賀 唯知 氏

基調講演

会場:西2ホール内 特設会場 受講料:無料

KN2 11:00 ~ 12:30

ユビキタス・コンピューティングの未来

東京大学 教授
坂村 健 氏

専門カンファレンス

会場:会議棟 609・610会議室 受講料:前売り8,000円当日10,000円

C1 13:30 ~ 15:30

グローバル時代の電子機器環境対策技術

鉛フリーはんだ接続関連技術と高温鉛フリーはんだ材料の開発
(株)日立製作所 生産技術研究所 実装ソリューション研究部
主任研究員 岡本 正英 氏高機能バイオプラスチックの開発と電子機器への応用
日本電気(株) 基礎・環境研究所エコマテリアルTG
研究部長 位地 正年 氏(工学博士)携帯機器メーカーから見たマイクロ燃料電池への期待
カシオ計算機(株) 青梅事業所 要素技術統括部
第三技術開発部 第一開発グループリーダー 梶澤 康成 氏

C2 13:30 ~ 15:30

水素エネルギー時代を支える計測技術

水素社会実験プロジェクトと計測技術
早稲田大学 理工学部機械工学科
教授 勝田 正文 氏可搬型ボロハイドライド燃料電池とその製品化
(株)水素エネルギー研究所 ICHST日本事務所
須田 精二郎 氏家庭用電池システムの商品化と今後の展望
東京ガス(株) 技術開発部
PEFCプロジェクトグループマネージャ 小池 俊一 氏

専門カンファレンス

会場:会議棟 609・610会議室 受講料:前売り8,000円当日10,000円

C3 13:30 ~ 15:30

高速ワイヤレス技術の行方

インテルのワイヤレスブロードバンド戦略(UWB/802.11n/WiMAX)
インテル(株) 事業開発本部 事業開発部長 板越 正彦 氏MIMO向けマルチチャネル信号発生・解析測定環境のご提案
横河電機(株) 通信測定器事業部 第3開発PJTセンター
岩岡 満 氏見えない電波を可視化する:無線エリア設計に向けた支援ツール
日本電気(株) インターネットシステム研究所
主任研究員 小野 隆志 氏

C4 13:30 ~ 15:30

先端計測が開く新規バイオ産業

“百聞は一見にしかず”一体の外から生体分子を計測する
「分子イメージング技術の及ぼす画像診断の進歩」
GE横河メディカルシステム(株) 画像応用技術センター
センター長 永澤 清 氏テーラーメイド医療、食品トレーサビリティー
「普及期を目前に控えたDNAチップ技術」
(株)東芝 研究開発センター事業開発室 技監 源間 信弘 氏たんばく質、遺伝子を見る目、操る手
「ナノ計測を用いた生命現象の解明による次世代医療」
オリンパス(株)
新規中核事業企画本部長 小川 治男 氏

○基調講演/専門カンファレンス/JEMIMA委員会セミナー

■ 11月11日(金) 世界で勝つためのものづくり

基調講演

会場:西2ホール内 特設会場 受講料:無料

KN3 11:00 ~ 12:30

現場に見る日本のものづくり

政策研究大学院大学 教授
橋本 久義 氏

専門カンファレンス

会場:会議棟 609・610会議室 受講料:前売り8,000円当日10,000円

C5 13:30 ~ 15:30

熟練作業の自動化

ロボットの進化で、ここまで仕上げ作業が可能になった!
ヤマハファインテック(株) FA事業部 FA技術製造部 技術1課
仕上げロボット技術担当主席技師 福井 孝始 氏金型製造における長時間無人加工を実現する自動化システム
不二精機(株) 事業開発本部製造システムグループ
小西 勝芳 氏1シフト有人で720時間/月 稼働する機械加工システム
(株)ヤマザキマザック 美濃加茂製作所 第一部品加工課
課長 國井 一金 氏

C6 13:30 ~ 15:30

ワンランク上をいく品質の確保

一人一台生産における計測技術のキーポイント
ローランド ディー.ジー.(株) DPプロダクション部
部長 関 伸一 氏製造品質データのエンジニアリングプロセスへのフィードバック
オリンパス(株) 研究開発センター 生産技術本部生産戦略部
生産システム2グループ
グループリーダー 丸山 洋行 氏ナレッジマネジメント「FMEAを工程管理に活用するための課題と事例」
オムロン(株) IABカンパニー センシング機器統括事業部
新事業推進部部长 川池 襄 氏

JEMIMA委員会セミナー

会場:西2ホール内 特設会場 受講料:無料

J1 11月9日(水) 13:30 ~ 16:30

マネジメントシステムの必須要件—役立つJCSS—

校正事業者認定制度推進委員会

J2 11月10日(木) 13:30 ~ 16:30

動き出した WEEE、迫りくる RoHS—環境は世界の課題

環境グリーン委員会

[1] 環境規制関連の世界の動向と日本の政策
経済産業省情報通信機器課 環境リサイクル室
課長補佐 鈴木 俊朗 氏[2] WEEE/RoHS最新情報とJEMIMAの対応
(社)日本電気計測器工業会
環境グリーン委員会 テクニカルアドバイザー 若狭 裕 氏[3] JGPSSIIに基づく化学物質情報のデータベース構築
(株)エリスネット Webシステム課 課長 寺井 友也 氏[4] Material Declarationに関する国際標準化の動向とサプライチェーンに於ける化学物質情報管理
RossetaNetJapan 環境情報WG主査
(株)東芝 セミコンダクター社 e-ビジネスクリエーション部主務
伊藤 誠悟 氏

J3 11月11日(金) 13:30 ~ 16:30

企業に求められる安全対策 — 遵守すべき世界の法規制

法規制・規格委員会

[1] 産業界に望む安全対策
経済産業省製造産業局参事官室
参事官補佐 福田 賢一 氏[2] 安全・EMCに関する世界の法規制について
(社)日本電気計測器工業会 法規制・規格委員会 委員長
(株)アドバンテスト 品質保証統括部 QA1課課長 麻場 智明 氏[3] 電気用品安全法と、アジア各国の安全・EMC法規制概要
(財)日本品質保証機構(JQA)
安全電磁センター 認証事業部 副主査 濱野 漂太郎 氏[4] 国際安全規格IEC61010-1 Ed2における理解と解釈について
(株)コスモス・コーポレーション
取締役統括部長 坂井 彰 氏

○プロモーション活動

1. ダイレクトメール、その他印刷物

(1) 出展者配付

DM(案内状:和・英)、ポスター

(2) 主催者発送

前回来場者リスト、日経BP社読者リストによるDM発送、およびタブロイド誌「新製品情報」との同包発送

2. 雑誌新聞広告

(1) 関連業界誌等

計装/計測技術/計測と制御/トランジスタ技術/経済産業公報/JEMIMA会報

(2) 日経BP社および日本経済新聞社媒体紙誌

① 出展募集広告: 日経産業新聞

② 開催告知広告

・日経エレクトロニクス	3回
・日経ものづくり	3回
・日経マイクロデバイス	2回
・日経バイオビジネス	2回
・日経産業新聞	3回

3. 公式Webサイト

展示会の公式サイトを開設し広く情報を公開し、事前登録を受け付けるとともに、出展者のホームページへのリンクを設定した。

- ・日本電気計測器工業会 <http://www.jemima.or.jp/>
- ・日経BP社 <http://expo.nikkeibp.co.jp/jemima/>

4. 来場者向け発行物

・公式ガイドブック

5. インターネット広告

(1) 日経BP社が運営するWeb媒体へのバナー広告掲載

nikkeibp.jp、Tech-On!、IT Pro、デジタルARENA、Biotechnology Japan

(2) 日経BP社が発行するメール媒体へのテキスト広告掲載

nikkeibp.jp mail、IT Pro-News、Nikkei Electronics Wire Service: NEWSメール、日経ものづくりONLINEメール、BTJ/HEADLINE/NEWS

6. メール配信

(1) 展示会来場者向けに開催告知メールを配信

計測展2003 TOKYO来場者、バイオジャパン2005来場者

(2) 日経BP社が発行するメール・Web・雑誌媒体の読者向けに開催告知メールを配信

nikkeibp.jp mail、Tech-On!、Nikkei Electronics Wire Service: NEWSメール、日経ものづくりONLINEメール、BTJ/HEADLINE/NEWS、NV-CLUBメール、日経ベンチャー

(3) 計測展2005 TOKYO事前登録者向けにカウントダウンメールを配信

来場率を高めるため、見どころなどの最新情報を3回配信

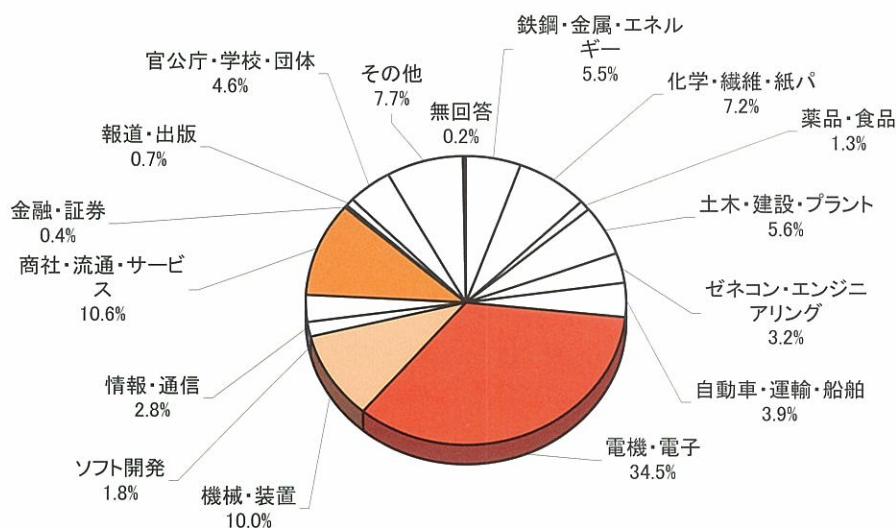
○来場者アンケート結果

◇アンケート結果概要

- 来場者を業種で見ると最も多かったのは「電機・電子」34.5%、次いで「商社・流通・サービス」の10.6%、「機械・装置」10.0%となった。
⇒p9 参照
- 来場者を職種で見ると最も多かったのは「設計・開発」35.2%、次いで「営業・企画・調査」の28.0%となった。
⇒p9 参照
- 来場者の79.8%（「東京」44.2%、「神奈川」17.1%、「その他の関東地区」18.5%）が関東圏勤務者であった。また、「北海道・東北」2.1%、「九州」1.5%など、全国からの来場者があることも確認された。
⇒p10 参照
- 来場者を役職で見ると64.9%が何らかの役職に就いていることがわかった。
⇒p10 参照
- 「最新技術動向の情報収集」のために来場した方が、来場者全体の74.6%。「最新技術動向の情報収集」以外では「導入計画のための情報収集」16.9%、「導入、購入するための比較検討」16.5%、「出展製品に関する具体的質問・商談」7.2%と、導入・購入過程における様々なシーンで計測展2005 TOKYOが役立っていることがわかった。
⇒p11 参照
- 参考になったゾーンは、「センサ・フィールド機器」41.7%がトップ、次いで「コントロール(PA・FA)」34.4%となった。
⇒p12 参照
- 「見たかった技術・製品を見ることができた」来場者は、全体の75.8%。見たかった技術・製品を「見ることができた」来場者は16.9%、「まあまあ見ることができた」来場者は58.9%で、「技術・製品を見たかった」来場者の期待にこたえることができた。
⇒p13 参照
- 来場者の73.3%が、計測展2005 TOKYOの内容を「満足」と評価。来場者の3.4%が「大満足」、69.9%が「まあ満足」と回答し、来場者の満足度の高さを裏付けた。
⇒p13 参照
- 計測展への来場経験を聞いたところ初めての来場者が47.4%、過去に来場経験のある来場者が51.5%とほぼ半数ずつとなった。
⇒p14 参照
- 来場者全体の87.6%が次回の計測展への「来場」を希望。来場者の22.1%が「是非来場したい」、65.5%が「できれば来場したい」と回答し、計測展に対する来場者の期待の高さを裏付けた。
⇒p14 参照

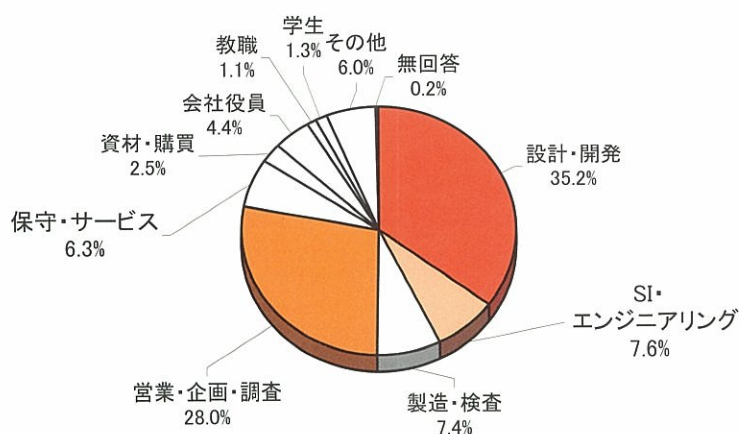
問.あなたが所属する企業・団体の業種についてお答え下さい。(ひとつに○)

	N=3227	%
鉄鋼・金属・エネルギー	177	5.5%
化学・繊維・紙パ	231	7.2%
薬品・食品	41	1.3%
土木・建設・プラント	180	5.6%
ゼネコン・エンジニアリング	102	3.2%
自動車・運輸・船舶	126	3.9%
電機・電子	1114	34.5%
機械・装置	322	10.0%
ソフト開発	59	1.8%
情報・通信	91	2.8%
商社・流通・サービス	343	10.6%
金融・証券	13	0.4%
報道・出版	22	0.7%
官公庁・学校・団体	148	4.6%
その他	250	7.7%
無回答	8	0.2%



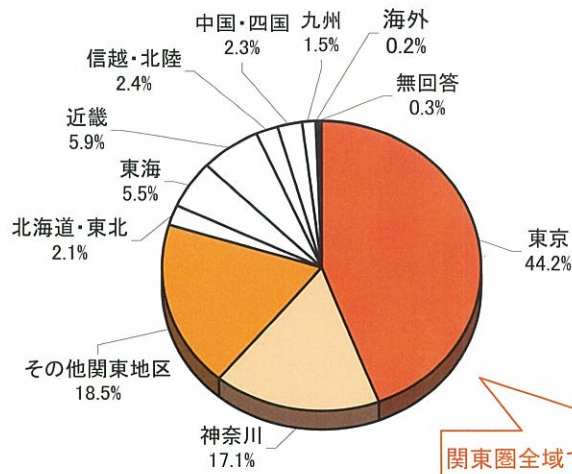
問.あなたの職種についてお答え下さい。(ひとつに○)

	N=3227	%
設計・開発	1136	35.2%
SI・エンジニアリング	244	7.6%
製造・検査	238	7.4%
営業・企画・調査	903	28.0%
保守・サービス	204	6.3%
資材・購買	80	2.5%
会社役員	143	4.4%
教職	35	1.1%
学生	43	1.3%
その他	195	6.0%
無回答	6	0.2%



問.あなたの勤務地についてお答え下さい。(ひとつに○)

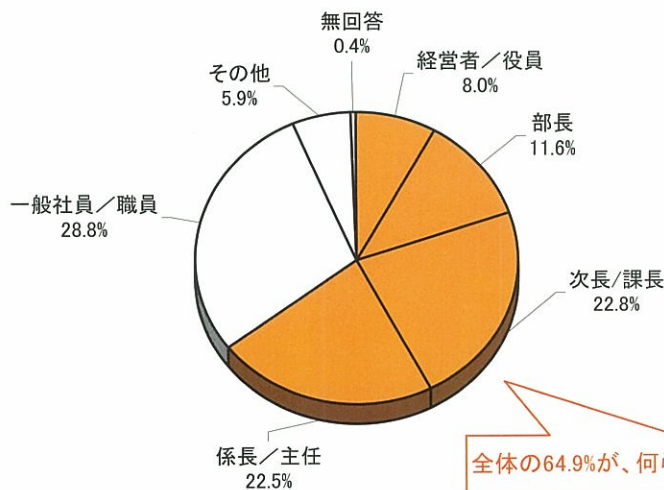
	N=3227	%
東京	1425	44.2%
神奈川	551	17.1%
その他関東地区	598	18.5%
北海道・東北	67	2.1%
東海	178	5.5%
近畿	190	5.9%
信越・北陸	78	2.4%
中国・四国	74	2.3%
九州	50	1.5%
海外	7	0.2%
無回答	9	0.3%



関東圏全域で、79.8%を占める。

問.あなたの役職についてお答え下さい。(ひとつに○)

	N=3227	%
経営者／役員	259	8.0%
部長	373	11.6%
次長／課長	736	22.8%
係長／主任	725	22.5%
一般社員／職員	929	28.8%
その他	191	5.9%
無回答	14	0.4%

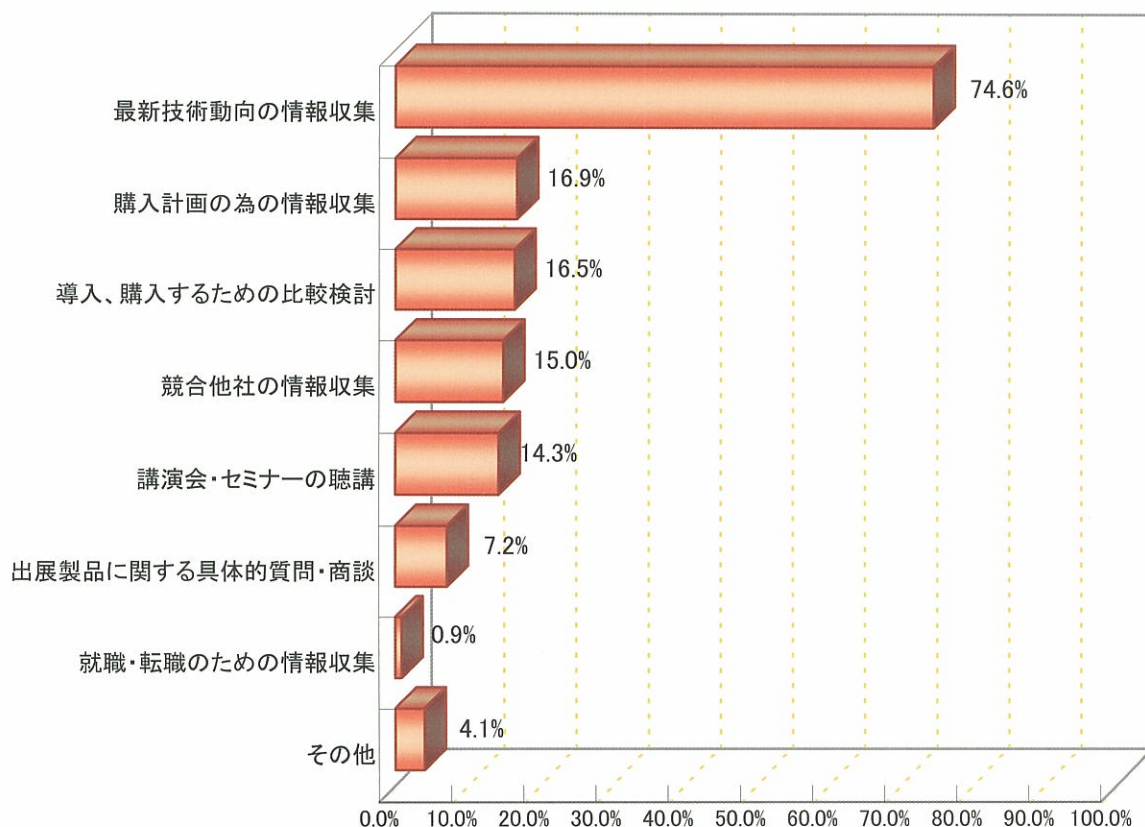


全体の64.9%が、何らかの役職に就いている。

問.あなたが「計測展2005 TOKYO」に来場した目的で近いものはどれですか(いくつでも)

	N=3227	%
最新技術動向の情報収集	2407	74.6%
購入計画の為の情報収集	544	16.9%
導入、購入するための比較検討	533	16.5%
競合他社の情報収集	483	15.0%
講演会・セミナーの聴講	462	14.3%
出展製品に関する具体的質問・商談	231	7.2%
就職・転職のための情報収集	29	0.9%
その他	132	4.1%
無回答	14	0.4%

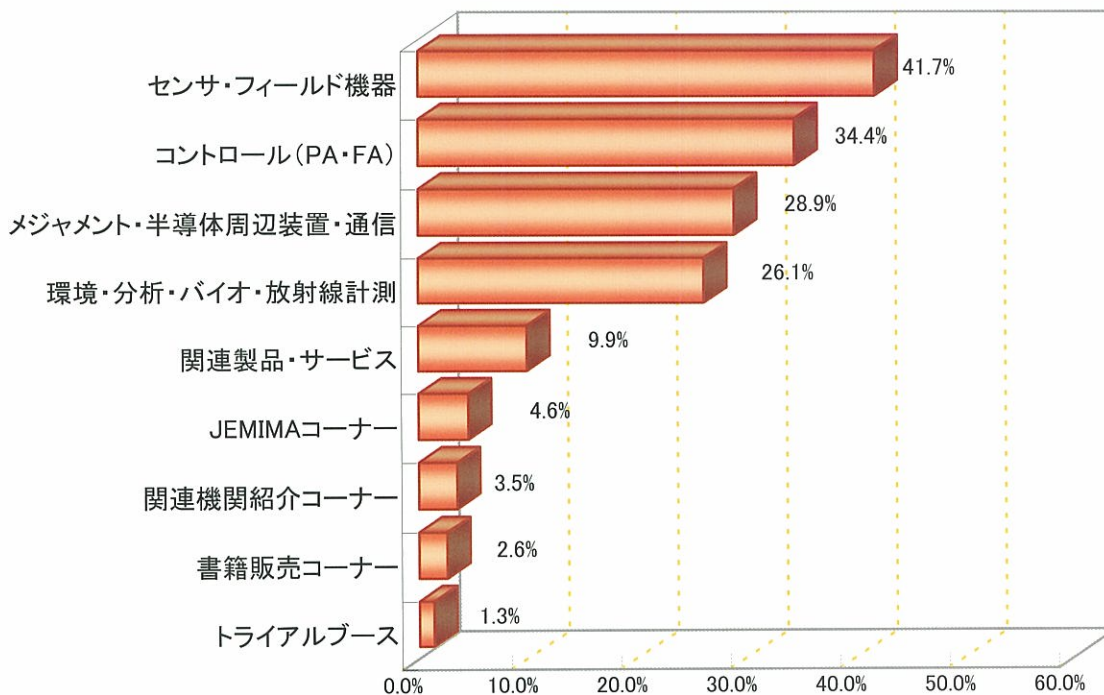
「最新技術動向の情報収集」が、74.6%と過半数を超えトップに。



問.「計測展2005 TOKYO」であなたの参考になったゾーンはありましたか(いくつでも)

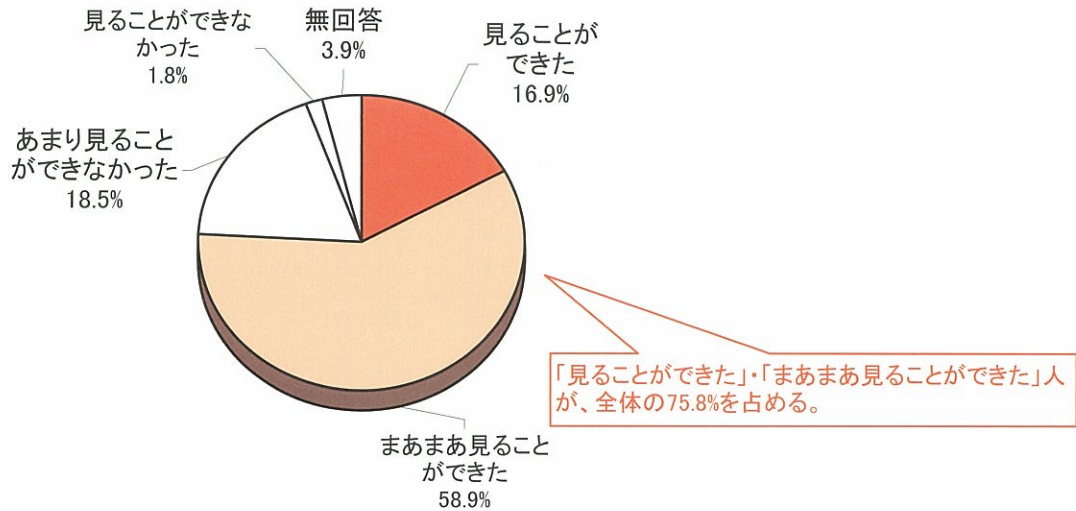
	N=3227	%
センサ・フィールド機器	1346	41.7%
コントロール(PA・FA)	1109	34.4%
メジャメント・半導体周辺装置・通信	931	28.9%
環境・分析・バイオ・放射線計測	842	26.1%
関連製品・サービス	320	9.9%
JEMIMAコーナー	147	4.6%
関連機関紹介コーナー	113	3.5%
書籍販売コーナー	83	2.6%
トライアルブース	43	1.3%
無回答	116	3.6%

参考になったゾーンは、「センサ・フィールド機器」41.7%が「コントロール(PA・FA)」を7.3%上回りトップに。



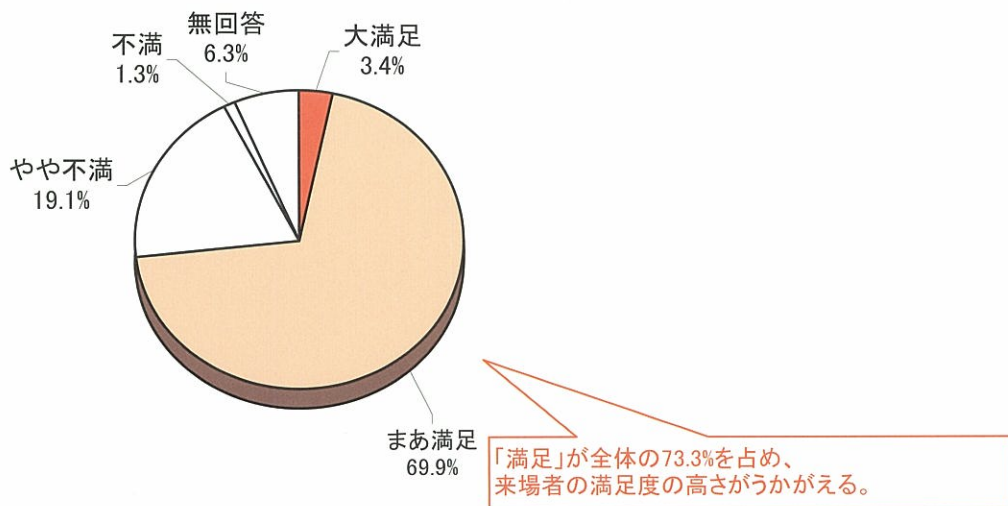
問「計測展2005 TOKYO」においてあなたがご覧になりたいと思っていた技術・製品はありましたか(ひとつに○)

	N=3227	%
見ることができた	547	16.9%
まあまあ見ることができた	1902	58.9%
あまり見ることができなかった	596	18.5%
見ることができなかった	57	1.8%
無回答	125	3.9%



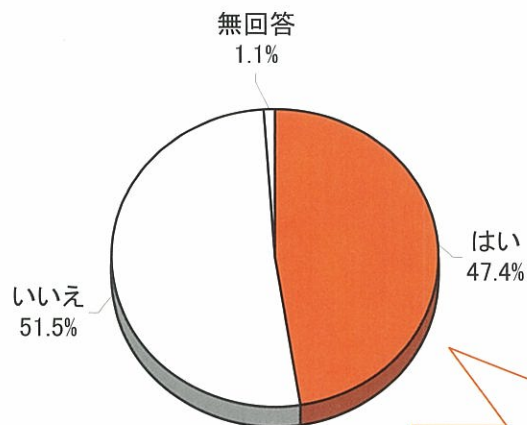
問「計測展2005 TOKYO」の展示会の内容に、あなたはどの程度満足しましたか(ひとつに○)

	N=3227	%
大満足	109	3.4%
まあ満足	2256	69.9%
やや不満	616	19.1%
不満	44	1.3%
無回答	202	6.3%



問.「計測展(旧INTERMAC)」へのご来場は初めてですか。(ひとつに○)

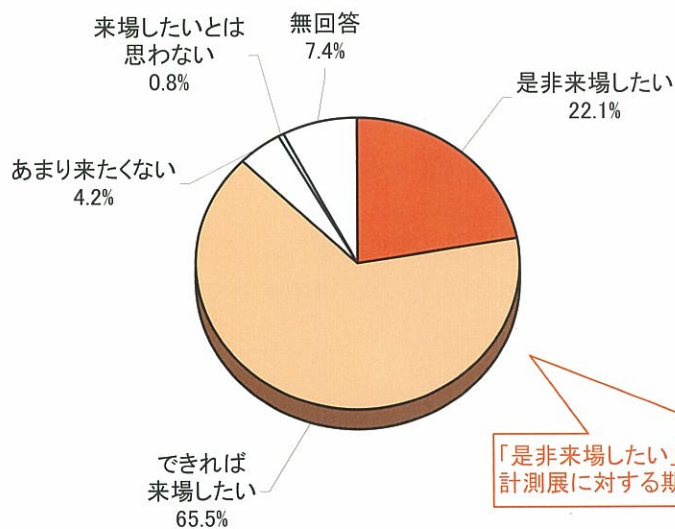
	N=3227	%
はい	1529	47.4%
いいえ	1662	51.5%
無回答	36	1.1%



「はい」と「いいえ」で回答が二分され、約半数が初めての来場となった。

問.次回の「計測展」(2007年)にも来たいと思いますか。(ひとつに○)

	N=3227	%
是非来場したい	714	22.1%
できれば来場したい	2112	65.5%
あまり来たくない	137	4.2%
来場したいとは思わない	25	0.8%
無回答	239	7.4%



「是非来場したい」・「できれば来場したい」で、87.6%となり、計測展に対する期待度が高いことがわかった。

主催 社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-9-10



Tel 03-3502-0601

Fax 03-3502-0653

Web <http://www.jemima.or.jp/>

共催 日経BP社